

令和7年度 長崎市立西城山小学校 学校経営

Ⅰ 学校教育目標・学校経営方針について

憲法・教育基本法・県教育方針等

【長崎市教育方針】(R4年度～R7年度)

長崎市の教育は、学校・家庭・地域が一体となって、長崎のまちを愛し未来を担う子どもたちの育成をめざすとともに、だれもが生涯を通じていきいきと学び、楽しみ続けられる社会の実現に努める。とくに、本市がめざす将来の都市像「個性輝く世界都市」、「希望あふれる人間都市」の実現に向け、長崎市独自の歴史・文化を活かし、平和を求め、多様性を認め合う、国際性豊かな市民の育成に努める。

【長崎市第五次総合計画基本計画】教育の振興に関する分野より抜粋

G:私たちは「未来を創る人を育み、だれもが学び、楽しみ続けられるまち」をめざします

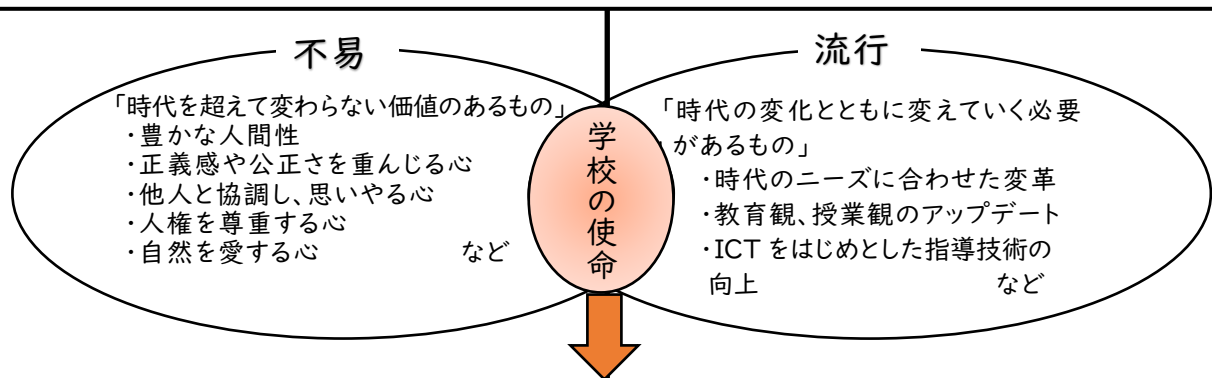
【学校教育】G1長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます

「確かな学力」の向上を図ります(G1-1)

家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります(G1-3)

健やかな心と体を育成します(G1-2)

安全・安心に学べる教育環境を整備します(G1-4)



不易と流行をバランスよく取り入れ、児童一人一人の3つの力を伸ばすことである。

- 授業を通して、**学力**をつける(知)
- 集団生活を通して、**心の力**をつける(徳・心)
- 運動や活動を通して、**体(耐)力**をつける(体)

【学校教育目標】

夢や希望の実現へ向け、生涯を通じて学び、国際社会に貢献できる、徳・知・体調和のとれた個性豊かな児童の育成
「みんなでつくる にししろやま」

に こにこえがお しんけんたいど
しろ うとするしせい やさしいところ まなびあうなかま

児童の実態

地域の願い
保護者

【学校経営の方向性】

- ① 児童の実態，課題に応じた取組を行うこと。
- ② 教職員個々人のパフォーマンスを最大限に発揮できる学校組織であること。
- ③ 学校・家庭・地域の連携・協働による「地域総がかりの子育て」の継続、拡大を図ること。
- ④ 「働き方改革」の一層の推進により「子どもと向き合う時間」の確保に努めること。

2 めざす姿について

○ 学校（児童・教職員）、家庭、地域でめざす姿を共有し、すべての力を総動員した連携・協働体制を構築し、“みんなでつくる にしろやま” の具現化を図る。

みんなでつくる にしろやま とは・・・				
にこにこえがお(徳)		しんけんなたいど(体)	しろうとするしせい(知)	やさしいところ(心)
まなびあうなかま				
学校像	子どもも職員も元気な学校 あいさつや感謝の言葉が当たり前の学校	目標や夢を育む学校	豊かな学びや経験のできる学校	子どもが愛着をもつ学校 地域に愛される学校
子ども像	きまりを守る子 ・命を大切にする子 ・役割に責任をもって取り組む子 ・時間を守る子	元気な子 ・自ら動く子 ・あきらめない子 ・進んで体を動かす子	学び合う子 ・目標を立てて学ぶ子 ・意欲的に学習する子 ・学ぶ習慣が定着した子	思いやりのある子 ・あいさつができる子 ・ありがとう・ごめんねが言える子 ・笑顔で人に接する子
教職員像	教育者としての使命感とやる気に満ちた教職員	「ワーク・ライフバランス」を大切にし、 心身共に健康な教職員	「社会を生き抜く力」を育む教職員 自ら学び、互いに高め合う教職員	保護者と足並みをそろえ子どもに寄り添う教職員 地域と協働する教職員
授業像	子どもの目が輝き、 学びが自信と力になる授業	課題に真剣に向き合い、解決に向け粘り強く取り組む授業	子どもが主体的に学び、考えを出し合いながら、 高め合う授業	子ども一人一人が互いに認め合い、 支え合う授業
Point ・あじさいスタグダードを指針とし、子ども同士で学び合い高め合う授業の具現化を図る ・プロとしての資質を磨き、授業を第一に、切磋琢磨しながら互いを高め合う				

3 重点努力事項について

学力・心の力・体(耐)力を高める学校をつくる＝みんなでつくるにししroyama				
児童の実態,課題に 応じた教育実践 【G1-3・4】	「できた」「わかった」「やってみたい」が響く授業実践 【G1-1】	凡事徹底、師弟同行による生活指導 【G1-2】	めざす子ども像を共有した学校、家庭、地域の連携・協働 【G1-3】	保健・安全指導の徹底 【G1-4】
①一人ひとりのよさが輝く学級経営の充実 ・認め合い、高め合い、応援し合う支持的風土の醸成 ②「生活指導連絡会」の充実による校内支援体制の確立 ③共通理解を深めるための保護者面談等の積極的な実施 ④「校内支援委員会」を中心とした特別支援教育の充実と教職員の資質・能力の向上 ・支援に関する検証と改善 ⑤保護者との合意形成のもと、具体的かつ効果的な個別の指導計画、支援計画を作成	①基礎学力の定着 ②教師も児童も学力向上を実感できる授業実践(研究部を中心とした検証と改善) ③「T・T」や「少人数指導」等を生かしたきめ細かな授業実践 ④西城山スタンダードの実践と充実 ⑤学習規律の確立・徹底 ・物構え、身構え、心構え ・相手を大切にすることの聞き方 ⑥横断的な学習の成果を生かす場の設定(総合、特活、交流、地域行事) ⑦ICT教育の推進(授業や家庭学習での日常的な活用)	①成果が目に見える生活目標の遂行 ②生活アンケートの実施及び分析によるいじめ0の実現 ・適切な初期対応及び確実な解消の実現 ③「3つの『あ』」の周知・徹底 ・あいさつ、あるきかた、あとしまつ ④児童会活動を中心とした自治的、自発的活動の推進 ⑤黙々教室移動、黙々掃除、黙々当番	①学校からの積極的な情報発信 ・通信、HP、tetoruの活用 ②「コミュニティ協議会」「ネットワーク」「健全育成協議会」等、地域組織・人材との連携・協働、地域学校協働活動の推進 ③みんなでつながるPTA活動の推進とPとTの協力体制の構築 ・保護者の学校参画意識の向上 ④読書活動の推進 ・学校図書館司書との連携及び図書館の活用推進 ・家庭読書習慣の定着 ⑤外部機関・地域との緊密な連携	①はやね・はやおき・あさごはん等、基本的生活習慣の推進 ②感染症防止のための換気、うがい、手洗いの徹底 ③心の健康を向上させる生活環境づくり ④安全教育の徹底・充実 ・事故・けがを防止するためのルールの徹底 ・危機及び危険を回避する力の育成 ・安心、安全な教育環境の整備
働き方・働きがい改革の推進	「チーム西城山」として大切にしたいこと ①安心、安全な職場環境づくり・・・職場が楽しいと仕事も楽しい(ウェルビーイング)⇒成果があがる 職員室は安らげる場所でありたい 教職員間(管理職も含む)のコミュニケーションを大切にする。 ②「チーム西城山」としての意識(雰囲気)を高める協働体制づくり・・・支え合う教職員集団 ・報・連・相の日常化を図る。 ・お互いのよさを認め合い、敬意をもって接している。(支持的集団) ・忙しい人には声を掛ける。 ・校務や行事で頑張った人にはねぎらいの言葉を掛ける。 ・悩んでいる人にはそっと言葉を掛ける。 ・異常を感じたら、管理職に知らせる。 ・代教の先生にはお礼を言う。 ・みんなの時間を大切に、行動する。(時間を意識して行動する) ・先生方の子どもたちへの思いを応援する(それはダメ、ムリ・・・ではなく、こうしたらどうだろうと一緒に考える) ・不祥事根絶(飲酒運転、ハラスメント、体罰 等) ③超過勤務削減(月45時間 年間 360 時間)を意識した働き方 ・定時退庁日(全教職員:毎週木曜日 教頭定時退庁:毎週火曜日17:00※新たに設定)の徹底			